

／個人や企業の成長を実現／ インクルージョン導入研修

障害のある方を含めた多様な社員同士のコミュニケーションを改善し、インクルージョン（お互いを理解・尊重し一緒に働く）を実現するために必要な5つのスキルを習得します。その結果、パフォーマンス（仕事の成果や効率）とウェルビーイング（心身の健康や幸福感）の双方を高め、個人や組織が成長することを目指します。



研修の POINT



POINT
1

インクルージョンを実践するために必要な5つのスキルが学べる

障がいのある方を含めた多様な社員同士のコミュニケーションを改善し、インクルージョン（お互いを理解・尊重し一緒に働く）を実現するために必要な5つのスキルが学べます。

POINT
2

“振り返る” “考える” “言葉で書く” “協力する”を重視した ワークシート形式で日常的な実践に役立てやすい

研修シートは、スキルを日常で実践できるよう「振り返る」「考える」「言葉で書く」「協力ポイントの明確化」に重点を置いています。定期的に見直すことで、意識や行動の変化を目指します。

POINT
3

最先端の障がい体験VRによって発達障がいの理解が深まる

長井志江先生（東京大学）が開発した「ASD視覚体験シュミレータ」を用いて、発達障がいの方の世界の見え方を体験します。発達障がいへの理解を深め、より適切な支援の在り方について、体験や参加者での議論を通じて学ぶことができます。

研修メニュー

インクルージョン導入研修【基礎編】（座学：50分）

インクルージョンの意義や進め方を学ぶ

インクルージョン導入研修【実践編】（座学/ワーク：120分）

ワークシートで5つのスキルを身に付ける

障がい理解編（座学/ワーク/体験：120分）

「ASD視覚体験シュミレータ」を体験し議論する

お申込み/お問い合わせ

（一社）応用脳科学コンソーシアム事務局

連絡先：can@can-neuro.org

／こんな方におすすめ！／

インクルージョンを通じて
個人や組織の成長
を目指したい

発達障がいの理解や
見える世界を
体験したい

障がいのある方の
インクルージョン
を進めたい

メンバー間の
コミュニケーションや
人間関係を改善したい



インクルージョン導入研修（基礎編）

【内容詳細】

なぜ今、インクルージョンが必要なのか？

- ✓ 社会構造の変化：障がい者の力が必要
- ✓ 社会構造変化がもたらす日本企業への影響
- ✓ 機運が高まらない理由

インクルージョンに取り組む意義 企業・個人への驚きの効果

- ✓ 職場環境への効果
- ✓ 財務指標・企業価値向上への繋がり
- ✓ 個人への効果
- ✓ なぜ効果が出るのか？科学的根拠
- ✓ 世代間の意識差 / ホルモンの影響

インクルージョンを進めるには？：5つのスキルの概要と実践のヒント

「基礎編」では

インクルージョンの意義や効果が
理解できます

障がい者インクルージョンの意義を理解し
業務や事業戦略で取り入れたいと感じてもらえる状態を目指します

CSR / 福祉
なんとなく良さそう

- ✓ インクルージョンの意義と効果を説明できる
- ✓ 「5つのスキル」とその重要性を理解する
- ✓ 推進するためのヒントを持ち帰れる

受講前

重要性は感覚的に理解しているものの、
腹落ちしきれていない、説明できない

受講後

意義や効果を理解し、
自社での推進につなげられる



インクルージョン導入研修（実践編）

「実践編」では

例えば「わたしのトリセツ」で
お互いの理解を深める方法を学びます

【内容詳細】

インクルーシブリーダーシップ

- ✓ 「組織の心理的安全性を高める」「知識の共有を促す」「関係性をより深める」の3つの役割を学びます

信頼関係構築

- ✓ 思いやりと感謝の連鎖により、信頼関係を向上させることを目指します

コンディショニング評価

- ✓ 「健康状態」「日常生活」「職場」「業務」の категорияに分けて、パフォーマンスの低下要因を探します

自己理解

- ✓ パフォーマンスの低下要因を構造化し、協力してほしいことや、自分でも取り組むポイントを明確にします

多様性理解

- ✓ 特徴や協力してほしいことをまとめたトリセツを作成し、チームの全員で共有します

わたしのトリセツ

自己理解シートに記入した内容を中心に、相手に伝わるようわかりやすくまとめる

STEP 1 わたしの特徴

出身地/出身地のオススメ

好きな食べ物 趣味

苦手な食べ物 目標/夢

特徴① 特徴② 特徴③

わたしはこんな人です

STEP 2 仕事をする上で協力してほしいこと

困っていること① 困っていること②

その原因 その原因

自己理解ガイド

「こんな性格です」「こんな特徴があります」といったような性格やパーソナリティを3つ書いてみましょう。形容詞で表す

自己理解シートで振り返った周りについて、「困っていること」「自分で取り組むこと」に整理して、相手に伝わるよう分かりやすく書き

障がい理解編

「障がい理解編」では

最先端VRを用いた体験ができます

【内容詳細】

- ✓ 東京大学の長井志江先生が講師となり、ASD視覚体験シミュレータを用いて、発達障がいの方の見え方を体験
- ✓ 体験だけではなく、講義、グループワークもセットで行うため、正しい障がい理解や、適切な支援方法について、考えを深めることが可能

